

号外！ 次は12月！

話題の落語協会新会長が、その一番弟子と。

第42回 「佐世保かっちえて落語会」 林家正蔵・たけ平 親子会

伝統と格式ある落語協会の会長に選出された正蔵師と、その一番弟子であり“かっちえて”は初登場の、たけ平師による親子会・・・と書き始めて、気がつきました。果たして、この会場の何人の方が、「落語協会」のことを知っているだろうか・・・と。ですからここで、簡単にわかりやすく数字をあげて説明いたしますが、現在協会に所属している真打は225名。二ツ目は59名。前座は20名。講談師は3名。色物（漫才・漫談・紙切り・奇術など）は55名。お囃子（三味線）は16名。計378名の、ひと癖もふた癖もある芸人たちをまとめ、落語の普及と落語界発展のために尽くす重責を担っているのが、新会長の正蔵師なのです。自身の芸に精進しながら、弟子を育て他の一門の若手を指導しながら、寄席や落語会に出演しながら、マスコミに対応しながら、八面六臂東奔西走・・・まさに超多忙ながらも、この西の端の“かっちえて”には来てくれるのです。それもひとえに、この会のお客様たち（今この号外を読んでいるあなたのことです！）のことが、前座を務めさせてもらっている子供たちのことが、「でえすき」だからなのです。

林家正蔵：若い頃からテレビで活躍し、落語界の大名跡である“正蔵”を襲名してからは精進に精進を重ね、その温かい人柄から語られる古典落語は非常に高く評価されていて、浅草芸能大賞新人賞、国立花形演芸大賞古典落語金賞、文化庁芸術選優秀賞などを受賞。噺家たちの人望も厚く、落語協会の新会長として落語の普及・発展のために多忙を極めながらも、「佐世保のお客様が大好きだから」と公言し、過密スケジュールながらも、この会には来てくれます。嬉しいですね。

林家たけ平：彩の国落語大賞を受賞するなど、古典落語の本格的な語り手としての評価もさることながら、登場人物の会話よりも演者の語りで、当意即妙なギャグを織り交ぜ笑いを誘いながら筋を運んでいく“地噺”の名手として人気が高い。その明るいキャラは“かっちえて”のお客様と相性ピッタリのはず。乞うご期待！

さらに、前途有望な二ツ目、たま平さんも来てくれます。

落語界では師匠と弟子のことを“親子”と言いますが、たま平さんは正蔵師匠の弟子であり、実の息子でもあります。

林家たま平：その勢いのある高座に佐世保でもファンが増えていて、落語界初の四代目として、将来を期待されている若き噺家である。
弱冠 32 歳。

地元の子供たちによる“地産地笑”の創作落語があって、「正蔵・たけ平・たま平」揃い踏み、他ではめったに鑑賞できない落語会なのに、小中高生は無料ですし、こんな落語会はないと思いますので、お早めのご予約をおすすめいたします。笑う門には福来たる、笑顔の人には幸来る。

次回も！あなたとお会いできることを、べらぼうに願っております！

（文責・海老原靖芳）

2026年12月6日(日)
開演午後4時
佐世保コミュニティーセンター5F
指定席（大人）：2,500 円
小中高生指定席：無料(先着50名)

※チケット販売・問合せ先

佐世保かっちゃん落語会・実行委員会 事務局

〒857-1174 佐世保市天神 3-2702-4 Soup-Up させぼ内

Tel:0956-32-0888 / Fax:0956-59-8151

営業時間：月～金 9時～17時